

アジア フェスタ 2024 in WAKO

オンライン・リレー講座週間
& 一つ釜の飯交流会

10/7(月) ——— 10/12(土)

開催時間 10/7～10/11(オンライン)・・・19:00～20:30

10/12(交流会・対面)・・・13:00～16:00

※参加費無料、何回でも受講可能

- 講師…室橋佑和、武山泰士、野々山富雄、日比野淳平、芳地直美
原田公久枝、バンバン・ルディアント、田浦弘芳
- 主催…和光大学地域連携研究センター、アジアフェスタ世話人会
川崎市教育委員会連携事業、一般財団法人町田市文化・国際
交流財団共催事業、町田市教育委員会後援
- お申し込み…下記 Google フォームからお申込みいただいた後、
Zoom の ID とパスワードをお送りします。
<https://forms.gle/4MkKNg9MqLs4Bj9MA>

各講座の詳細は裏面へ

講座スケジュール

10/7 月 19:00～20:30	『「ネパール人のカレー屋」はなぜ多いのか?』【新大久保より生中継】 いまや日本全国どこでも見る、ネパール人経営のインドカレー屋。これほど増えた背景、メニューのナゾ、そして子供の教育などカレービジネスの問題点も含めて、現地取材の写真とともにお話しします。 講師：室橋裕和〔ジャーナリスト。アジア、在日外国人関連の取材を続けている。新刊『カレー移民の謎』（集英社新書）〕 サポーター：岡本有子〔和光大非常勤講師。ネパール舞踊研究家。天台宗僧侶〕
10/8 火 19:00～20:30	『島へ移住！～いろんな島いろんな暮らし』【屋久島、隠岐の島より生中継】 近年、暮らし方に変化が起き、生き方の選択肢も広がりました。「今春ご家族で隠岐の島へ移住」「屋久島移住約40年」「18年の父島移住経験」「小豆島出身、奄美諸島へ移住準備」という4名の方から島移住について学びます。 講師：武山泰士〔創作ダイニング/ポニアイランドシェフ〕のオーナーシェフ。10代から小笠原・父島に18年間移住経験〕 野々山富雄〔アフリカでの砂漠化防止計画活動ののち、屋久島移住約30年。ネイチャーガイドとして現在に至る〕 日比野淳平〔今春まで京都で展開していた染色業とカルチャーセンターの機能を隠岐の島に移し、3人の子と妻と移住。〕 芳地直美〔瀬戸内海小豆島生まれ。アフリカ200日キャンプなど、ビーバルや山溪などに紀行文多数。〕
10/9 水 19:00～20:30	『アイヌとして生きるということ』【札幌より生中継】 一人のアイヌ女性がただただいじめられるだけの小中学校時代を経てアイヌということから逃げて、もう一度アイヌということに向き合いどう生きるのかを考え続けていることを話します。 講師：原田公久枝〔芽室町出身。40歳の頃から独学でアイヌのことを学び発信している〕
10/10 木 19:00～20:30	『伝統文化を用いる防災教育～ニアス島の舞踊「マエナ」とジャワ島の儀式「チョック・バカル」』【インドネシアより生中継】 多民族国家インドネシアでは防災対策の全国展開は困難だが、ニアス島伝統舞踊を使った和光大の防災教育が人々の意識を高めた。また、東ジャワ州の伝統儀礼チョック・バカルが防災・減災に役立つ様子を現地の高校で科学的に実証する事例も取り上げます。 講師：バンバン・ルディアント〔和光大学教授。大統領の通訳、国連勤務、政府開発援助機関勤務など幅広い分野で活躍〕 現地ゲスト：Masturin Adiwijaya（ムハマディヤ財団法人）
10/11 金 19:00～20:30	『ロシアのウクライナ侵略戦争の裏側～アジア化したスラブ人同士の戦い』【ウクライナより生中継】 長年、ロシアや旧ソ連諸国とのビジネス経験から、ロシアのプロパガンダの危険性やウクライナの未来について、そして私たちはこの戦争とどう向き合うべきなのかを語ります。 講師：田浦弘芳〔和光大卒。商社勤務、旧ソ連崩壊時モスクワ駐在。現在は中央アジアの企業ビジネスをサポート。2016年約1年ウクライナ滞在〕
10/12 土 13:00～16:00	【一つ釜の飯交流会～一部講師や教員も交えて、関根先生監修タイカレーなどのアジアンフードを食べながら歓談しよう!】 コーディネーター：関根秀樹〔和光大学非常勤講師。『焚き火大全』ほか著書は60冊以上。〕

〈アクセス〉

小田急小田原線鶴川駅
南口より徒歩15分。